

図書館  
だより

平成29年(2017年)冬 No. 332

- 図書館で「健康・医療・介護」情報を入手!・・・1面
- 少しでも快適に図書館を利用させていただくために  
～広島市立図書館のバリアフリーサービス～・・・2面
- ご存じですか?「リーディングトラッカー」・・・3面
- 図書館司書が紹介するこの1冊!・・・・・・3面
- この日は何の日?・・・・・・4面
- 休館日のお知らせ1月～3月・・・・・・4面

## 図書館で「健康・医療・介護」情報を入手!

みなさんは、健康情報、病気や薬、介護などについて調べたいときはどのようにしていますか?

本や雑誌、新聞、テレビ、インターネット、友人や知り合いの方などから情報を得るなど、その手段は様々だと思います。また、インターネット上の情報は、簡単に入手、利用ができますが、根拠のないものもあります。

健康づくりや病気・介護などに向き合うとき、日常生活をおくる上での課題を解決するとき、調べものをするときは、正しく、信頼できる情報なのかを見極めて入手することが大切です。図書館では正しい情報収集ができるようお手伝いをしています。

## 図書館にある健康・医療・介護に関する資料

## ●闘病記

中央図書館の2階自由閲覧室Aの「闘病記コーナー」では、病気で悩む人やその家族の病気に対する不安の解消、心の支えとなる闘病記を1,800冊以上所蔵し、52の病気や症状ごとに分かりやすく並べています。

## ●患者会や家族会などの情報

自由閲覧室Aには、「患者会・家族会・各団体の情報コーナー」、「会報閲覧コーナー」を設け、患者会などが発行している案内パンフレットや病気に関する資料、各団体の会報など、当事者ならではの情報を提供しています。

## ●がんに関する情報

自由閲覧室Aの入口前には、「がんと暮らす情報コーナー」を設け、各種がんについての知識や治療などに関するパンフレット、広島市内にある国指定のがん診療連携拠点病院のパンフレットなどを提供しています。

## ●調べ方案内

お調べの手助けとなるように、「気になる病気の調べ方」を作成・配布しています。現在は「がん」「糖尿病」「肺の病気 COPD(慢性閉塞性肺疾患)」「循環器の病気」についての調べ方案内があります。

## ●健康・医療・介護に関する資料

自由閲覧室Bには、健康・医療・介護に関する資料、3階参考閲覧室には、医学辞典・事典などがあります。お調べの際に職員がお手伝いをしますので、お気軽にカウンターへお尋ねください。



これら以外にも、広島市健康福祉局と連携した健康づくりや介護などに役立つ情報を提供しています。広島市立図書館ホームページ「お役立ちリンク」には、健康・医療・介護について調べる際に役立つサイトを紹介しています。図書館をあなたの情報拠点として、ぜひご活用ください。

# 少しでも快適に図書館を利用させていただくために

## ～広島市立図書館のバリアフリーサービス～

### 来館が困難な方へのサービス

#### 図書郵送貸出サービス

心身の障害などにより、図書館への来館が難しい方へ、郵送で図書の貸出を行っています。利用には事前に登録が必要です。

#### 有料図書宅配サービス

図書館に行く時間がない、家族の介護や出産、育児で外出できない、交通の便が悪く行く方法がないなど、様々な理由で図書館への来館が難しい方に宅配で図書を貸し出すサービスです。利用には事前に登録が必要です。

### 通常のおおきさの活字で書かれた本や日本語の本などの利用が困難な方へのサービス

#### 録音図書

「録音図書」とは、「耳で聴く資料」です。

デイジー図書・カセットブック・マルチメディアデイジー図書・CDブックがご利用いただけます。文字を読むことが難しい方、本を読むのにお困りの方は、ぜひご利用ください。

また、デイジー図書を聴いてみたいと思われる方に、デイジー図書再生機（プレクストーク）の貸出も行っています。利用には事前に登録が必要です。

デイジー図書とは…デジタル録音図書のことで、音声で本を読み上げます。パソコンや、専用のデイジー図書再生機（プレクストーク）で聴くことができます。

マルチメディアデイジー図書とは…音声だけでなく画像や文字も同時に再生できるデジタル録音図書のことで、パソコンで専用のソフトを使用して再生します。文字の大きさや色、読み上げのスピードなどを設定できるので、自分に合った再生の方法を選ぶことができます。



デイジー図書再生機(プレクストーク)  
【写真左上】とデイジー図書

#### 外国語で書かれた資料

外国語で書かれた新聞・雑誌、本をご利用いただけます。

中央図書館には主に英語や中国語、韓国・朝鮮語（ハングル）で書かれた生活に役立つ実用書・小説などの約 2,000 冊、安芸区図書館にはスペイン語・ポルトガル語で書かれた約 280 冊がそれぞれの多文化サービスコーナーでご利用いただけます。また、こども図書館には 30 言語・約 6,000 冊の外国語の絵本コーナーがあります。外国語を母国語とされる方の読み物として、また各言語を学習されている方の語学学習の手引きに活用いただけます。

#### 大活字本

大活字本は、視力の弱い方や小さい文字が見えにくい高齢の方のために、通常の約 2 倍の大きさの活字で印刷された本です。小説やエッセイを中心に、辞書や実用書など、全館で約 1,300 点の大活字本を所蔵しています。

中央図書館や各区の図書館には大活字本コーナーを設置しています。

#### 布絵本

布絵本は、指先を使いながら楽しむ絵本です。布で出来ているので、柔らかく優しい手触りで、赤ちゃんから機能訓練が必要な方まで幅広く楽しむことができます。安芸区図書館で所蔵していますが、各館に予約で取り寄せることもできます。

詳しくは、ホームページの「利用案内」をご覧ください  
<http://www.library.city.hiroshima.jp/information/index.html>

## ご存じですか？「リーディングトラッカー」

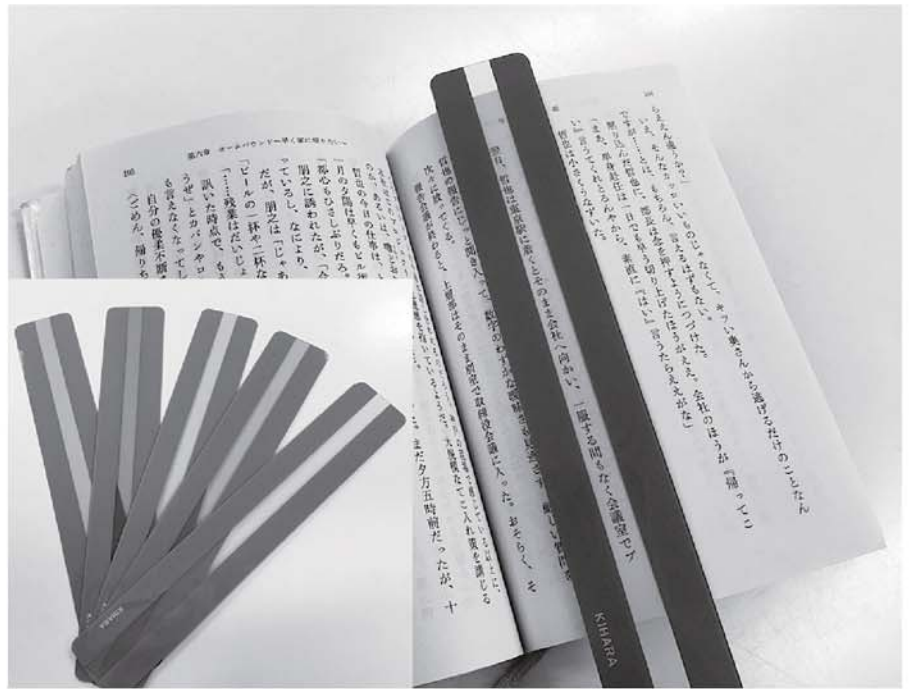
細かい字を読むとき、しおりを当てながら読むと読みやすいと感じたことはありませんか？

「リーディングトラッカー」とは、視野狭窄や黄斑変性などの視覚障害のある方や、集中して本を読むのが難しい方のための読書補助具です。写真のように、両隣の行を隠すことで、今読んでいる行に集中でき、読み飛ばしなどを軽減することができます。

しおりのようなお手軽で簡単なこの道具は、障害があってもなくても、集中するのが苦手でも、みんなが読書を楽しめるように作られたものです。

広島市立図書館では、この「リーディングトラッカー」を全館の窓口にご用意しています。

人によって読みやすい色が異なるため、イエロー、ライトグリーン、エメラルドグリーン、ピンク、パープルの5色があります。どの色が自分に合うか、ぜひ館内でお試ください。



## 図書館司書が紹介するこの1冊！ バリアフリーな環境をめざして

### 児童書

#### 『わたしの心のなか』

シャロン・M・ドレイパー/作  
鈴木出版 2014年



少女メロディは脳性まひのために話すこと、歩くことはできませんが、頭の中はいつも言葉であふれています。地元の小学校に通いますが、意志疎通が難しく度々苛立ちを感じます。5年生になったある日、会話を助けてくれるコンピュータを入手した彼女は、持ち前の優れた理解力と記憶力を生かし、クイズ大会の学校代表メンバーに選ばれます。ハンディに対する葛藤を抱えながらも、家族や周囲の人々の力を得て、困難を乗り越えていく少女を描いた物語です。

### 一般書

#### 『旅のことは 認知症とともによりよく 生きるためのヒント』

井庭 崇 ほか/編著  
丸善出版 2015年



認知症と分かった時を「新しい旅のはじまり」にたとえ、「本人」「家族」「みんな」が認知症とともに生きるためのヒントとなることをばを40個紹介しています。例えば本人ができないことが増えた時、逆にできることを書き出してみると、改めて多くのできることに気付き心が前向きになるというように、「どのような状況の時に、その問題にどう対処すればどのような結果を期待できるのか」が、具体的に書かれています。誰もが自分のこととして考え、実際に活用できるように作られた一冊です。

# この日は何の日？

## 1月1日は、日本初の点字新聞創刊記念日

日本初の点字新聞「あけぼの」は、明治39年（1906年）1月1日に神戸の六光社から発行されました。この六光社を設立したのは、左近允 孝之進（さこんじょう こうのしん）という人物で、神戸訓盲院（現在の兵庫県立視覚特別支援学校）の創設者でもあります。

左近允は、郷里の鹿児島から早稲田大学の前身である東京専門学校政治科に進み、日清戦争に従軍後、鹿児島に戻って酒屋を営んでいた26歳の時に失明しますが、その後、自らの進むべき道を見出すための旅で訪れた神戸で視覚障害者の自立への支援を決意します。

当時、文字を持たないがゆえに情報に疎く、また一般社会から遠ざけられていた視覚障害者の自立のために、「教育」と「情報」が必要であるという信念のもと、あん摩や鍼灸の技術指導だけでなく一般教養の教育に重点を置いた学校の設立と、視覚障害者が読むことのできる新聞・書籍の発行とそのため点字活版印刷機の考案に向けて奔走します。しかし、財政的に厳しい状況が続き、明治42年（1909年）、志を果たせぬまま39歳という若さでこの世を去ります。

現在も、視覚障害者が社会生活を営む上で点字新聞は欠かせない情報源となっています。平成26年（2014年）、この左近允の偉業をたたえて1月1日を「日本初の点字新聞『あけぼの』創刊記念日」として、日本記念日協会に登録されました。

みなさんもこの記念日をきっかけに、「誰もが暮らしやすい『ユニバーサル・デザイン社会』」について考えてみませんか？



左近允が考案した点字活版印刷機(復元)  
国立民族学博物館 所蔵

このコーナーでは、図書館や本、文学などに関わる記念日を紹介します。

## 休館日のお知らせ 1月～3月

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

### 3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

□ 休館日

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

※湯来河野閲覧室 2月25日(土)～3月3日(金)

編集・発行

Hiroshima City Central Library  
広島市立中央図書館  
(公益財団法人 広島市文化財団)  
〒730-0011 広島市中区基町3-1  
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542  
本の照会・相談専用 082(222)6440  
F A X 082(222)5545  
(携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)  
(スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>)